

CHOPPER

JUL 2015

Journal

24

All About American Hot Rod and Custom Motorcycles

2015年7月号

チョッパー・ジャーナル 2015年7月27日発行第4巻24号(通巻24号)

巻頭特集 CHOPPER Journal Report

SAN DIEGO CUSTOMS RIDE FAST DIE LAST

サンディエゴ・カスタムズ、チョッパーの進化論



WORLD WHEELS SPECIAL
BMW IGNITE STRAIGHT SIX
BMW Motorrad Japan. 挑戦が呼ぶ熱

Custom Exhibition
カスタムバイク・エキシビジョン

Custom Builders Story COSMIC

カスタムビルダーズ・ストーリー
コズミック 三浦大介





車体はトライジャによるオリジナルのフレームワークにより形成された独特で鋭いシルエット。その佇まいは実にアーティストックだ。

TRIJYA

Moebius

文=黒川鏡仁 text by TED KUROKAWA 写真=渡辺まこと photographs by MAKOTO WATANABE
取材協力=トライジャ phone 072-970-3110 <http://trijya.com/>

かつて、1990年代にニューヨークのグッゲンハイム美術館に於いて、チョッパーをアートとして捉えて展示した催しが行われた際に、アカデミックな方面から強い反発を招いたことがあった。しかし、中世の武器や甲冑、或いは生活用品が時を経て様々な事物がアートと見なされた例が数多ある現在に於いて、チョッパーを含むモーターサイクルを“アートに非ず”とする考えは、実に偏狭な感覚に思う。

そこでモーターサイクルをアートとして観ることに異論を

唱えたものを保守派と見なすのであれば、ここに紹介するトライジャが創ったマシンはまさにそうした価値観を持つ人間に対して“芸術とは何か？”を攻撃的に問いかける存在であり、すなわち“前衛的”な作品だと言えるモノだろう。

モーターサイクルとしての機能を備えながら、造形美を求めて造り込まれたその曲線的なシルエットとエッジの効いたディテールから成る外観は、たとえ万人に認められずとも、一つのアートであることは歴然たる事実である。



①ネス製のカバー類とトライジャ製の刻美エアクリナーを使いドレスアップしたエンジンはS&S製の1560cc。キャブにはCVを備えている。②曲線的なシルエットにエッジを効かせ、美しい造形を見せるフューエルタンク。③ハイテックなイメージのフロントエンドはMSC製。5度のレイクツリーを使いながら良好なハンドリングが与えられている。ホイール、ブレーキ周りは前後共にPM製。④ドロップダウンしたフレームのラインに沿わせ、ピボット下まで伸びた特徴的なデザインのシート。⑤取り回しを凝らして排気管長を稼ぎながらインパクトのあるディテールを与えられたマフラーはトライジャによるワンオフだ。



